

小麦の生育概況

本年の麦作は、暖冬により生育が旺盛となっており、穂数は平年を10%上回っています。生育の進み具合も早く、出穂期は平年に比べ7日早まっていますが、出穂後の気温が低めに推移したことから、出穂から開花までの日数はやや長くなっています。

11月上旬の適期に播種された圃場では多収が見込まれますが、10月下旬に播種された現地の圃場では、幼穂枯死が多発しています。このような圃場では、成熟期が不揃となり易く品質の低下が懸念されることから、今後、排水を徹底し登熟の向上を図ることが重要となります。



作況調査結果

項目	本年	対平年比
出穂期	4月19日	7日早
稈長	90cm	101%
穂長	8.8cm	101%
穂数	500本/m ²	110%

(注)・品種:「農林61号」

・播種期:11月4日播、播種量:7kg/10a(条播)

低温により穂の一部が枯死した現地圃場